

床暖房フローリング 重ね貼り施工について

リリカラレイフロアは、既存の床暖房フローリングの上から重ね貼りして施工が可能です。床暖房が既に敷設されている居室における床材のリフォームの場合、従来ならばフローリングの剥がし貼り替えが必要でした。リリカラレイフロアは、床暖房フローリングの上から重ね貼りすることで居室のリフォームが可能になります。そのため、フローリングの剥がし貼り替え工事と比較して、工期の短縮や静音での施工が可能になり、リフォーム工事におけるお施主様、施工業者様の負担が大幅に軽減できます。

リフォーム方法の違いによる比較

	リフォーム方法	施工前準備	作業工程
リリカラレイフロア	重ね貼り	<p>不要</p> <p>※ 表面に不陸・段差がある場合は不陸調整が必要になります。</p>	<p>(下地調整) ▶ 施工 ▶ 養生</p> <p>カッターでの施工のため、近隣への騒音もほとんどありません。</p>
フローリング	剥がし貼り替え	<p>必要</p> <p>※ フローリングの剥がし作業が発生し、剥がした後の下地調整も必要になります。</p>	<p>剥がし作業 ▶ 下地調整 ▶ 施工</p> <p>▶ 養生 ▶ 残材処分</p>

リリカラレイフロアを使用すると

工期の短縮

廃材の削減

施工作業の簡略化

コスト削減

など

様々なメリットがうまれます。

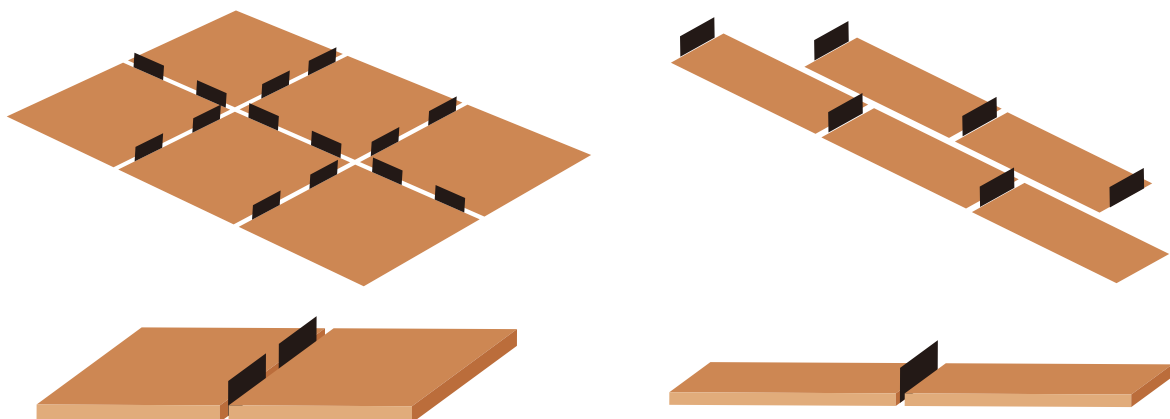
*重ね貼り施工を行った場合、厚みが増した分、従来の床暖房と比較して若干昇温速度が遅くなる可能性があります。



床暖房フローリング 重ね貼り施工時の注意点

- 既存のフローリング等の状態を確認し、すき間・不陸・段差があればその補修を行い、平滑性を保ち、適正な下地環境になるように調整してください。不陸は1mにつき2mm以内とし、局所的な凹凸が無い状態にしてください。目地やすき間、凹部分がある場合は、パテ等で埋めてください。段差や凸部分は、サンダー等で削って平滑にしてください。表層が剥がれている場合は、凸部分はサンダー等で削り、凹部分はパテ等で埋めるなどして、平滑になるようにしてください。
- 施工時の環境温度が15℃以下の場合、採暖等を行い15℃以上で施工するようにしてください。また可能な場合、床暖房の電源を入れた状態で施工してください。
- 施工時の環境温度が5℃以下の場合、施工を避けてください。
- 接着剤はリリカラピールアップボンドをご使用ください。
- タイルを貼る際は、突き合わせ部分は比較的ゆるめ（0.2mm程度）に施工してください。また、壁際等への貼りじまい部分は無理矢理押し込むことはせず、1～2mm程度のすき間が出来るように施工してください。特に、施工環境温度が15℃以下の場合には施工後に突き上げを起こす可能性がございますので、製品に添付されております紙をミシン目に沿ってカットし、「スペーサー」としてご使用ください。
- 施工後は、ハンドローラー等を使用して十分に圧着を行ってください。また床暖房の電源を入れ、突き上げ・目地すきなどの不具合が発生しないかを確認してください。万が一不具合が発生した場合、適切な寸法のタイルに変更するなどの処理をして補修してください。
- 床暖房の電源を入れた時に、床面の温度上昇に伴い接着剤の臭いが強く発生する可能性がありますので、換気に心がけてください。
- 床暖房やホットカーペットをご使用になる場合は温度調節をしていただき、こもり熱などで高温になりすぎないようにご注意ください。

■ = スペーサー



※ 木目調 (WOOD) に関しましては、長手方向のみスペーサーを挿入してください。

* 施工時にスペーサーが不足する場合は、施工済み箇所の物を再使用して頂きますよう、お願い致します。